



KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれる様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。



翔ばたけ! 若き後継者たち vol.4
越智 大輔さん



▲ホクレン北見支所 畜産生産課
城 幸男 酪農担当主任技師

本年度の農協事業方針に示された哺育育成センターの開設に向けて、11月17日に農協本所会議室にて㈱デイリーファーストゆづべつ取締役会が開かれました。

これらの会議を、重ねて一年近く検討していますが、事業申請に向けて秒読み段階となりました。

今回の取締役会の協議事項については施設建設に向けての最終的な施設レイアウトや堆肥処理についてなど、ホクレン農業協同組合北見支所畜産生産課の城幸男主任技師と網走農業改良普及センター遠軽支所の早川文乃普及職員を交え、長時間に渡る会議となりました。

既存のコントラクター事業、TMRセンターと並び、労働力を生乳生産管理に傾注することによる計画的な生産規模の拡大と安定的かつ近代的な酪農経営の実践により、地域を継続的に発展させることを目的として設立された㈱デイリーファーストゆづべつ。

将来的に湧別町の酪農業の重要な要素となる施設の建設には課題も多く協議は重ねておりますが、11月27日と28日の営農懇談会での報告及び、センターの完成・稼働に向かつて、今後も取締役会を開き、組合員様の為に努力して参ります。



○金融共済課からのお知らせ○

～JAバンクATM（セブン銀行等）のご利用について～

平成29年1月3日(水)

通常営業

平成29年1月6日(土)～8日(月)

システム移動により取扱中止

一青年部と連合会の相互理解へ一

～JAゆうべつ町青年部 意見交換会～



JAゆうべつ町青年部は、ホクレン農業協同組合連合会と相互理解を深めることを目的として、11月15日にJA北海道中央会と北海道信連北見支所の方々と交えて意見交換会を開催しました。

意見交換会の内容として、青年部員達に中央会・連合会の業務をより知ってもらつたため、JA北海道中央会北見支所の沼田次長からJA・連合会の仕組みと規制改革について、JA北海道信連北見支所の伊藤支所長から信連の基礎的な知識について説明を行い、青年部員たちは内容を理解するため、テーブルに置かれた資料に真剣な眼差しを注いでいました。

中央会・連合会支所の方々からの説明を終えた後に、青年部員たちは『農家後継者の未婚問題について、北見地区の婚活などのイベントをさらに充実させてほしい』『酪農ヘルパーの人員について、ヘルパー職員が少なく、とても大変なので、人員確保について力を入れてほしい』といった、実際に現場で働く若き青年部員たちの『生』の意見を中央会・各連合会支所の方々に伝え、充実した意見交換会となりました。

あなたの「色」は何色?

～JAゆうべつ町女性部リフレ部会～

JAゆうべつ町女性部リフレ部会は、11月1日に湧別町農協本所大会議室にて『自分に似合う色を見つけるパーソナルカラー講座』を開きました。

講座にはたくさんの若い女性部員が集まり、講師には湧別町にあるネイルサロン「Color & nail come come」(カラーアンドネイル カムカム)の橋本純子さんがパーソナルカラーについての基礎や季節ごとのファッションのコーディネートなど、親切丁寧に各々の女性部員に説明を行いました。自分に似合うパーソナルカラーを見つけることができ、女性部員達にとっては、時間を忘れる講座となったみたいです。



てん菜の収穫及び出荷作業が終了する

10月20日より甜菜の収穫、運搬作業が開始され、11月26日をもちまして、全てのてん菜耕作者の元から北海道糖業株北見製糖所への運搬が終了致しました。

今年度は定植時期の干ばつ及び寒暖の差が少なく、てん菜の生育が心配されていましたが、10月から11月中旬に極端に気温が低い日が続く、平年反収については例年よりやや低かったものの、糖分についてはここ近年では非常に高い傾向となりました。収穫期間中については天候が不安定な日々が続き、生産者の方々にとっては非常に難儀された収穫になったと思われまます。

なお、当農協の平均収量及び平均糖度は以下の通りです。

	湧別地区	芭露地区
平均収量(t/ha)	53.75	47.55
糖分(%)	17.6	17.8



第25回 総会兼温泉保養

湧別地区年金友の会

湧別地区年金友の会は、11月6日から8日にかけて、「塩別つるつる温泉」にて定期総会兼温泉保養を開催しました。

齊藤安雄会長の挨拶から始まり、議長は端場栄吉氏が務め、提出された議案は全件可決され、無事総会が終了致しました。

夜の懇親会では先輩の物故者に黙とうを捧げた後、毎年恒例のビンゴゲーム大会を開催し、川西の小谷喜一郎さんの名司会のもと、会場中を大いに盛り上げました。ビンゴゲーム大会終了後にはカラオケ大会が開催され、楽しいひと時を過ごしました。



▲総会の様子



2日目の午前中には、晴天の下でパークゴルフ、室内では輪投げ等のゲーム大会、午後からは、恒例の花札大会と

午前引き続きゲーム大会を開催し、各々が一日を満喫しました。日中に流した気持ちの良い汗を天然温泉で洗い流し、塩別つるつる温泉の文字通りに肌が、つるつるすべすべになった後で、2日目の夜もビンゴゲーム大会とカラオケ大会、2次会やスナックでの3次会と沢山の美味しいお酒を頂き、楽しい温泉保養を過ごしました。会員の皆様におかれましては、これから元気で来年も楽しい温泉保養に行く事を楽しみにしている事でしょう。

今こそJA!

▼その意義と役割▲

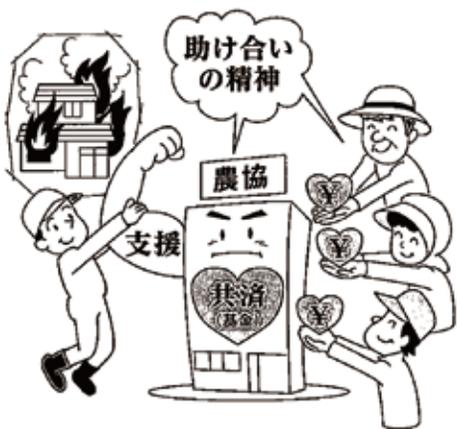
第11回 JAの共済業務

JAが行っている事業で特徴的なものが共済事業です。共済事業は、組合員が基金を積み立て、自然災害などで困った時にその基金から援助する仕組みであり、その根底にあるものはまさに「助け合いの精神」です。この共済制度は北海道の農協組織が始めたものが最初と言われており、その後、全国へと広がっていきました。

JAが取り扱っている共済には、火災、生命、自動車といったものがあります。特筆すべきものとしては建物更生共済（建更）があります。一般の保険会社では地震などの自然災害に対して保険金は支払われませんが、建更は自然災害を含めた全ての災害に対応しています。また、保険業界には生・損保分離規制というルールがあり、生命保険と損害保険の両方を一つの保険会社で行うことはできないことになっていますが、共済は保

険とは異なるためこうした規制はありません。いわゆる生命保険は金融庁所管の営利事業に該当し、JAの生命共済は農林水産省所管の非営利事業に分類されているのです。

この他にもJAが行う共済事業には、掛金が安く、割戻しがあるなど多くのメリットがありますが、最近、日本において保険事業の拡大を狙っている外資系保険会社が「JAの共済事業は優遇され過ぎている」と主張し、一般の保険会社と同様に規制するよう日本政府に対して圧力をかけてきています。保険と共済の違いを正しく理解し、助け合い精神の象徴でもあるJAの共済事業をこれからもしっかりと守っていくことが大切です。





今年のサイレージ用

とうもろこしの作柄について

一、今年の気象経過と生育概要

今年の春先は晴天に恵まれ、融雪期は平年より4〜7日早まりました。その後、5月は平年を上回る気温、日照時間で経過したため、は種期は平年より4日早まり出芽も順調でした。

6月以降の気温は7月は高めでしたが、6月及び8〜9月が平年を下回り、日照時間は8月が平年をかなり下回り子実の登熟が遅れました。また、5月下旬から7月中旬の降水量がかなり多かったことから、排水性の悪い圃場で湿害や肥料切れによる生育不良や下葉の枯れ上がりなどの影響が見られました。(表一)

二、今年の作柄と病害虫の発生状況

今年の収量は登熟の遅れにより乾物率が低くなり、乾物収量、TDN収量ともに平年を下回りました。黄熟期は平年に比べ4〜8日遅れ、多くの圃場において糊熟期での収穫を余儀なくされました。(表二) 一方、低温・多雨の気象経過や台風のため、収穫が遅れた圃場の一部で、すす紋病の発生や倒伏が見られました。

三、来年度に向けた対応

今年、湿害の影響を受けた圃場は、今後湿害の影響を大きく受ける心配がありますので、計画的に排水対策を行いましょ。

また、TDN収量の向上のため、pH矯正や適性施肥の実施、登熟性や雌穂収量の優れた品種の選択、品種に適した栽植密度となるようは種機の調整などを行いましょ。

表1 H29年気象(5/1~9/30)の各種算値と融雪期

	降水量(mm)	日照時間(時間)	積算気温(℃)	融雪期(月日)
遠軽町	508(441)	756(796)	2,416(2,383)	4.8(4.12)
佐呂間町	507(460)	769(840)	2,383(2,346)	4.3(4.9)
湧別町	468(415)	773(882)	2,357(2,280)	4.5(4.10)

表2 H29年のサイレージ用とうもろこしの収量(kg/10a)と黄熟期

	生収量	乾物収量	TDN収量	黄熟期(月日)
遠軽町	5,613(5,301)	1,516(1,591)	1,072(1,130)	10.4(9.26)
佐呂間町	4,713(5,016)	1,325(1,416)	907(919)	9.28(9.24)
湧別町	5,446(5,675)	1,218(1,311)	844(917)	10.2(9.27)

注意) ○ カッコ内は平年値 調査: 普及センター、関係機関による

輪作体系に大豆を導入

3町における作付面積割合は、図1のとおり「麦類」と「てんさい」が大きく占めており、短期輪作傾向かつ麦類では連作もみられます。

表1に示したように、連作を続けると、収量・品質への影響が出てきます。さらに、近年では、「秋まき小麦」の病害が多発、拡散しています。このままでは、農業経営と地域農業全体に悪影響をもたらします。その解決手段の一つとして、輪作年数を長くすることがあげられます。そこで、「大豆」を導入した輪作体系が検討され、本年は佐呂間町と湧別町にて、新規に大豆栽培を導入する生産者が増えました。

一、大豆作付けの注意点

大豆を作付けするには①排水対策②雑草防除(適期除草剤散布とカルチ除草の励行)③適期は種④適正栽植本数の確保⑤適期収穫、主にこの5点が重要となります。このどれか一つでも欠けると、生育ムラなどをおこし、収量・品質に大きな影響を与えます。

二、29年産大豆について

29年産大豆は、取り組みをおこなった各町とも、は種〜収穫までほとんどのほ場で順調に出芽し収穫をむかえることができました。しかし、収量・品質向上に向けて、生育中の管理作業など改善すべき課題も把握できました。管内の大豆栽培は本年産よりもまだまだ収量・品質ともに向上できる可能性を秘めています。

普及センターでは、今後も継続して、高品質・多収に向けた調査研究をおこないますので、皆様のご協力をよろしく願います。

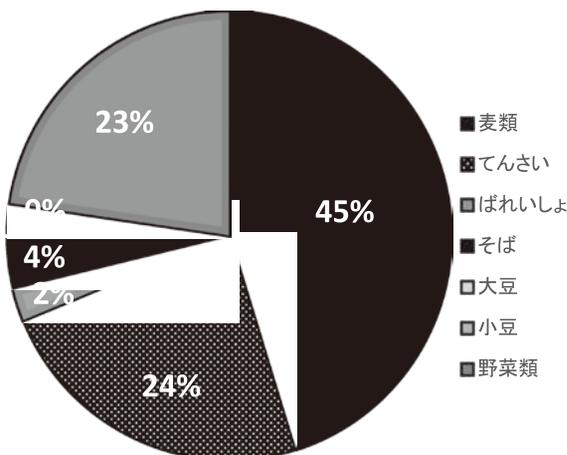


図1 H28年度3町作付面積割合

農協 お知らせ 版

平成29年度 第9回理事会
 10月24日開催

報告事項

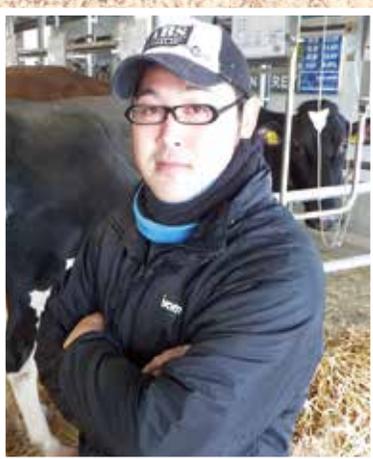
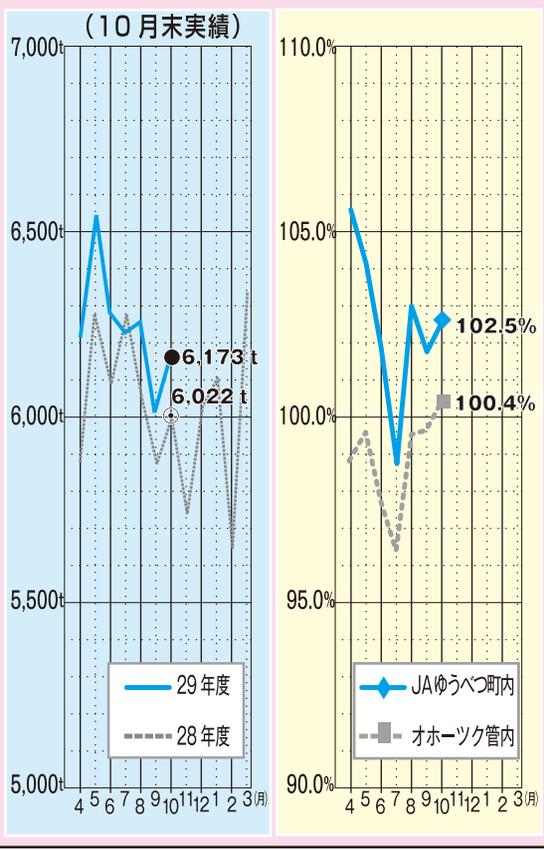
- ①オホーツク組合長会道外視察研修について
- ②畜産物価格安定基金協会役員視察研修について
- ③化製場慰霊祭・畜産事業運営委員会について
- ④収穫感謝祭について
- ⑤遠紋地区組合長会視察研修について

協議事項

- ①平成29年度決算見込みについて
- ②監事監査の指摘事項に対する回答について
- ③高齢者に対する記念品の贈呈について
- ④営農懇談会の開催について
- ⑤JA北海道大会実践フォーラムへの参加について
- ⑥管理専門委員会について
- ⑦自由金利型定期貯金の受入れと貯金残高の推移について
- ⑧組合員の営農実績について
- ⑨平成29年9月末生乳生産実績について

平成29年度 生乳出荷状況について

JAゆうべつ町生乳出荷量推移 生乳出荷量との前年比較



湧別町芭露地区
越智大輔さん
 (越智淳一さん 長男)

生年月日 1986年1月13日 (31歳)
 趣味 探しています (笑)
 特技 円盤投げ
 抱負 安定した酪農経営を目指します!

表紙紹介

お問合せ
 湧別町農協整備工場
 TEL (01586) 5-2219

JAグループ X SUZUKI X SUBARU

新車 早期予約キャンペーン

平成30年 1月15日[月] 受注分まで
 (最終期は平成30年1月1日~3月31日まで)

軽トラック 期間中、キャリイまたはサンバートラックを新車でご成約で付属品プレゼント!

付属品8品プレゼント!

- 専用マット
- 専用シート
- 専用バックシート
- 専用フロアマット
- 専用サイドステップ
- 専用ラゲージボックス
- 専用ラゲージボックス
- 専用ラゲージボックス

スズキ キャリイ スバル サンバー

乗用車 期間中、スズキの軽自動車(軽車)をご成約で下記付属品A-Eの中からお好みの1品をもれなくプレゼント!

付属品5品プレゼント!

- 専用マット
- 専用シート
- 専用バックシート
- 専用フロアマット
- 専用サイドステップ

アルト ハスラー イグニス

軽バン 期間中、エフレイまたはサンバーバンを新車でご成約で付属品プレゼント!

付属品8品プレゼント!

- 専用マット
- 専用シート
- 専用バックシート
- 専用フロアマット
- 専用サイドステップ
- 専用ラゲージボックス
- 専用ラゲージボックス
- 専用ラゲージボックス

スズキ エフレイ スバル サンバー